

腰椎椎体骨折にて入院された患者さんへ

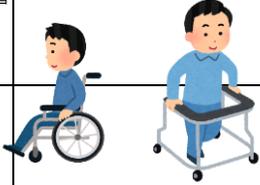
患者ID:

氏名:

主治医:

担当医:

受持看護師:

	入院日	入院2日目	入院3日目	入院4日目	入院5日目	入院6日目	入院7日目
目標	安静を守ることができる。 装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。	装具の必要性が理解でき、確実に装着することができる。 鎮痛剤を使用し、痛みをコントロールできる。 転倒なく歩行器で歩くことができる。 トイレで排泄することができる。			装具の必要性が理解でき、自分で装具を装着することができる。 転倒なく歩行器で歩くことができる。 トイレで排泄することができる。 自分で更衣をすることができる。	装具の必要性が理解でき、自分で装着することができる。 転倒なく歩行器で歩くことができる。 日常生活の注意点を理解して、退院後の生活が自立して送ることができる。	
治療処置		コルセットを作成するために型どりをおこないます。 					
点滴内服薬	痛み止めの薬を内服します。 必要に応じて点滴を持続的におこないます。						
検査	必要に応じて検査をおこなっていきます。						
リハビリ		リハビリテーション部の往診後から、リハビリが開始されます。立つ練習や歩く練習をおこないます。 					
安静度	装具を装着するまではベッド上安静です。 フィットキュアスパインという装具を装着した後、ベッドを上げたり、状態に応じてトイレまで歩行することができます。 かならず看護師の付き添いのもとでおこなってください。						
食事							
清潔		看護師が体を拭きます。 痛みに応じてシャワーを浴びることができます。看護師が座位着脱について指導をおこないます。					
排泄	装具を装着するまでは排泄はベッドの上でおこないます。 状態に応じて、尿の管を入れることがあります。	装具装着後、歩行器で歩くことができればトイレまで行くことができます。					
説明	医師より病態についての説明があります。何か気になることがあれば遠慮無く声をかけてください。			入院後、退院や転院の方向性について主治医から説明があります。 退院や転院を考えて、日常生活動作や運動について説明します。 ・整容（髪をとかず・洗顔ができる・歯磨きができる・衣類を整える） ・トイレ動作が獲得出来ているか ・一人で移動ができるか ・装具が自分で装着・脱着できるか ・転倒が予防できるか			
その他							退院おめでとうございます！